

1/1 DWPX - (C) Thomson Derwent
AN - 2001-085046 [10]
XP - N2001-065044
TI - Noxious insect catching device for capturing e.g. mosquitoes, flies, has specially shaped container whose internal atmospheric pressure is varied by motor fan to suck and catch fluttering insect
DC - P14
PA - (MURA/) MURAKAMI H
NP - 1
NC - 1
PN - JP2000324999 A 20001128 DW2001-10 A01M-001/00 2p *
AP: 1999JP-0175883 19990518
PR - 1999JP-0175883 19990518
AB - JP2000324999 A
NOVELTY - The insect catching device has an internal motor fan (4) that rotates when a sound sensor (2) has sensed a fluttering insect. The motor fan causes an atmospheric pressure difference within a specially shaped container (3) to suck the insect within the specially shaped container. The sucked insect is caught with a sticking net (5).
- USE - For capturing e.g. mosquitoes, flies.
- ADVANTAGE - Lures noxious insects to effectively catch and not drive away insects.
- DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the cross-sectional view of the insect catching device.
- Sound sensor 2
- Specially shaped container 3
- Internal motor fan 4
- Sticking net 5 (Dwg.1/2)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-324999
(P2000-324999A)

(43)公開日 平成12年11月28日 (2000.11.28)

(51)Int.Cl.
A 01 M 1/00
1/14
// A 01 M 1/02

識別記号

F I
A 01 M 1/00
1/14
1/02

テ-ヨ-ト (参考)
Q 2 B 1 2 1
S
A

審査請求 未請求 請求項の数1 表面 (全2頁)

(21)出願番号 特願平11-175883
(22)出願日 平成11年5月18日 (1999.5.18)

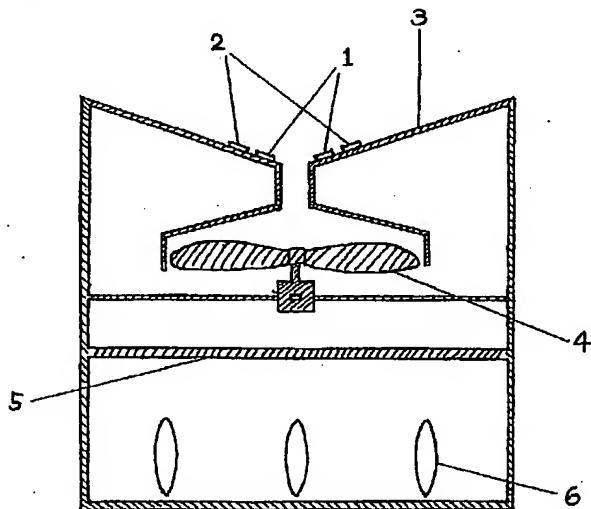
(71)出願人 599085840
村上 大洋
山口県下関市長府印内町3番19号
(72)発明者 村上 大洋
山口県下関市長府印内町3番19号
Fターム(参考) 2B121 AA12 BA03 BA09 CC11 DA15
DA63 EA01 FA04

(54)【発明の名称】 音感知器、モーターファン、粘着ネット、特殊形状容器を利用した害虫捕獲器

(57)【要約】

【課題】 従来の蚊やハエなどの害虫退治方法は、虫を追い込み薬剤等で退治する方法である。それゆえ、逃げられて退治出来ないこともよくある。そこで、蚊やハエなどの害虫をおびき寄せて捕らえるようにする。

【解決手段】 蚊やハエなどの虫が好む匂いを1で発生させる。虫が近づけばその羽音を音感知器2でモーターファン4を運動させる。その際外部と内部に気圧差が生じ、虫を吸い込む。それを粘着ネット5で捕らえる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】害虫が発する羽音を感知することによって、内部のモーターファンを回転させる。その時、特殊な形状の容器を用い気圧差を生じさせ、害虫を中に吸い込み捕獲する装置。

【発明の詳細な説明】

蚊やハエなどの害虫が好む匂いを発生させる1を用いておびき寄せる。その時発生する羽音を音感知器2で感知し、モーターファン4を連動させる。モーターファン4は、下向きに風を送る。すると、特殊形状容器3によって外部と内部に気圧差が生じ、害虫を内部に吸い込む。そして粘着ネット5で害虫を捕獲する。

【発明の属する技術分野】 生活必需品・害虫捕獲器

【従来の技術】 従来は、害虫を追い込んで薬剤で殺虫する方法。本発明は、害虫をおびき寄せて捕獲する方法。

【発明が解決しようとする課題】 従来は、食物がおいてある場所では、殺虫剤は、使えなかつたし、逃げ

られることもよくあった。そこで、どこでも使用出来、完全駆除を目指した。

【課題を解決するための手段】害虫の本能を利用し、その好む匂いでおびき寄せ、捕獲する。

【発明を解決するための手段】害虫を匂いでおびき寄せ、その羽音を音感知器に反応させて、モーターファンを連動させる。同時に特殊形状容器によって外部と内部に気圧差が生じ、害虫が内部に吸い込まれる。それを、粘着ネットで捕獲する。

【図面の簡単な説明】

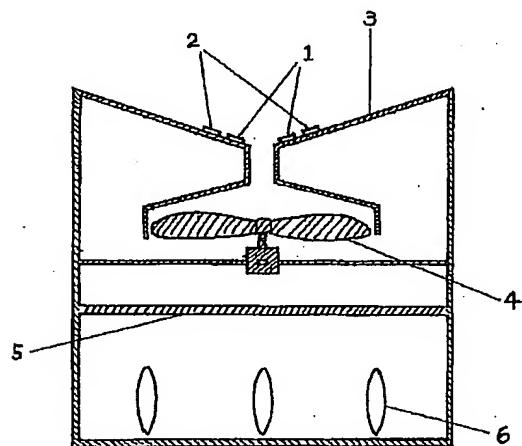
【図1】この捕獲器の断面図である。

【図2】上から見た平面図である。

【符号の説明】

- 1 害虫の好む匂いを発生させる装置
- 2 音感知器
- 3 特殊形状容器
- 4 モーターファン
- 5 粘着ネット
- 6 空気を逃がす穴

【図1】



【図2】

